

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (FAX 兼用) 6 9 1 - 3 3 2 3

日本共産党京都市会議員団 ☎ 2 2 2 - 3 7 2 8 FAX 211-2130 '16年9月11日号

市会議員団ホームページ <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/cpgkyoto/> E-mail cpgkyoto@mbox.kyoto-inet.or.jp



切実な現場の実態を訴える発言相次ぐ

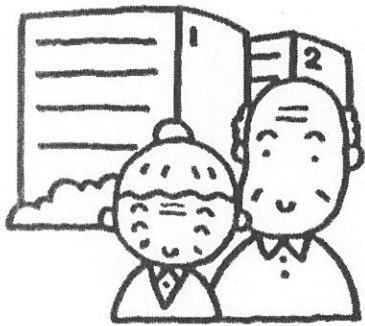
党市議団主催「介護懇談会」

9月2日、日本共産党市会議員団が「介護懇談会」を開きました。介護現場の事業者や労働者、介護を受ける高齢者やその家族の皆さんなど、約百人が参加され、切実な実態や、介護改悪を続ける政府や市に対する反論や要望などの発言が相次ぎました。



京都社会保障推進協議会の松田貴弘さんから、「介護保険の『今』と『これから』、国のねらいは」と題して説明して頂き、また議員団から、「介護

アンケートから見える市民・事業者のねがい」と題し、この間、議員団として取り組んできた事業者や高齢者へのアンケート結果や国・市の動きなどについて、玉本なるみ議員（北区）が報告しました。特に来春から、国と市が、要支援の人たちへのヘルパー派遣やデイサービスを縮小しようとしている（「総合事業」）こと、また収入の多少に関係なく利用料を2割にする、保険料納付義務を、現在の「40歳以上」から引き下げる、等々、一連の改悪の動きについても、批判を含めて報告しました。



参加者の皆さんからの発言では、「このままで

はヘルパーの仕事がなくなってしまう」「緊急シフトシフトを廃止しないで」「介護の人材が決定的に足りない」「障害者が65歳になれば、強制

市が宿泊施設拡充・誘致方針を発表

「市民意見募集」に声を挙げましょう

市が「宿泊施設拡充・誘致方針（仮称）素案」を発表し、10月7日まで、市民意見を募集中です。「民泊」についても市の考えが打ち出されています。



的に障害者施策から介護保険適用に移され、例えば無料だった利用料が有料になったりする。おかしい」など切実な声や要望・意見が相次いで出されました。

党市議団では、引き続き、これらの声を議会に反映させ、また運動を呼びかけ、改善・実現をめざしていく決意です。

す。是非お読み頂いて、意見を挙げましょう。「方針素案」は区役所にあります。または井上議員迄。

※ ※

【素案要旨】
外国人観光客が増えるのに宿泊施設が不足。施設の「拡充・誘致」が必要である。民泊は違法の是正とともに、「京都の暮らし」が体験できるような京都らしい良質な民泊を進める。

【井上議員の感想】
一路「拡充・誘致」の前に、観光の位置付けや市民の暮らしとの関係、宿泊施設の現状分析、等々が必要。市の「拡充」は、新規開業支援ばかり



市防災訓練（梅小路公園、9 / 3）

で、既存の旅館等への応援策がない。旅館を支援すれば、今日の民泊分に匹敵する施設容量拡大が可能。「誘致」も、外資系ホテルや海外富裕層ばかりでは市民の暮らし向上に繋がらない。

今日、市民の暮らしと路地裏のまちづくりにとって最大且つ重大な問題は民泊の激増。「拡充誘致」方針の一環ということとは、文脈上、民泊もまた「拡充誘致」ということ。「良質」の基準が不明。東京都の千代田区や台東区の条例には、「営業時間中に従事者を常駐させること」との規定があるが、京都では、従業員が常駐していないことが大問題。門限もない。ワンルーム投資用分譲マンションの「民泊」活用の実態も調査と対策立案が必要。